レイヤ 3 ネットワーク設定の前提条件

この章の内容は、次のとおりです。

- レイヤ 3 前提条件 （1 ページ）

レイヤ 3 前提条件

このガイドのタスクを開始する前に、次のことを行ってください。

- ACI ファブリックと APIC コントローラがオンラインであり、APIC クラスタが形成され健全であることを確認します— 詳細については、*Cisco APIC Getting Started Guide, Release 2.x* を参照してください。
- レイヤ 3 ネットワークを構成する管理者のファブリック管理者アカウントが使用可能であることを確認します— 詳細については、*Cisco APIC Basic Configuration Guide* の *User Access, Authentication, and Accounting* および *Management* の章を参照してください。
- 目的のリーフ スイッチとスパイン スイッチ (必要なインターフェイスを使用可能) が使用可能であることを確認します— 詳細については、*Cisco APIC Getting Started Guide, Release 2.x* を参照してください。

  仮想スイッチのインストールと登録の詳細については、*Cisco ACI Virtualization Guide* を参照してください。
- レイヤ 3 ネットワークを消費するテナント、ブリッジドメイン、VRF、および EPG (アプリケーションプロファイルとコントラクトを含む) を設定します— 詳細については、*Cisco APIC Basic Configuration Guide* の *Basic User Tenant Configuration* の章を参照してください。
- NTP、DNS サービス、および DHCP リレー ポリシーを設定します— 詳細については、*Cisco APIC Basic Configuration Guide, Release 2.x* の *Provisioning Core ACI Fabric Services* の章を参照してください。

⚠

注意 ファブリックのリーフ スイッチとスパイン スイッチの間に 1 ギガビット イーサネット (GE) または 10GE リンクを設置すると、帯域幅が不十分なために、パケットが転送されずにドロップされる可能性があります。これを避けるためには、リーフ スイッチとスパイン スイッチの間で 40GE または 100GE リンクを使用してください。

ブリッジ ドメインの設定

レイヤ 3 の設定 ブリッジ ドメイン ()] パネルのタブには次のパラメータを設定するには、管理者が使用できます。

- **ユニキャスト ルーティング** : この設定が有効になっているサブネット アドレスが設定されている場合は、ファブリックはデフォルト ゲートウェイの機能を提供して、トラフィックをルーティングします。ユニキャストルーティングもの有効化するように指示マッピング データベースをこのブリッジ ドメインのエンドポイントの IP-VTEP にマッピングを参照してください。IP ラーニングはブリッジ ドメインで設定されているサブネットを含むに依存ではありません。
- **サブネット アドレス** : このオプションは、ブリッジ ドメインの SVI IP アドレス (デフォルト ゲートウェイ) を設定します。
- **制限のサブネット IP ラーニング** : このオプションは、ユニキャスト リバース転送パス チェックに似ています。このオプションを選択すると、ファブリックはブリッジ ドメインに設定されている 1 以外のサブネットから IP アドレスを学習されません。

⚠

注意 有効化 **サブネットに制限 IP ラーニング** がブリッジ ドメイン内のトラフィックを停止します。